

XDCAM pocket



このヘルプでは、XDCAM pocketの操作方法を説明しています。

[概要](#)

接続

[M2 Liveに接続する](#)

[C3 PortalまたはNetwork RX Stationに接続する](#)

画面構成

[カメラ画面](#)

[外部入力カメラ画面](#)

[プレビュー画面](#)

[ブラウザ画面](#)

[ジョブリスト画面](#)

[リターン画面](#)

[設定画面（接続先としてM2 Liveを選択した場合）](#)

[設定画面（接続先としてC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択した場合）](#)

[イベント画面](#)

[タリーについて](#)

その他

[動作確認機器](#)

[使用上のご注意](#)

[商標について](#)

C-492-200-07(1) Copyright 2022 Sony Corporation

XDCAM pocket

概要

このアプリは、クラウドサービスやレシーバー機器に接続し、モバイル端末からストリーミングを行うアプリケーションです。

M2 Live、C3 PortalまたはNetwork RX Station（PWS-110RX1AまたはPWA-RX1）に接続して使用することができます。

C3 PortalまたはNetwork RX Stationに接続した場合は、モバイル端末で動画ファイルを記録して、記録したファイルを転送することができます。

モバイル端末の内蔵カメラ・マイクのほか、XperiaシリーズのHDMI入力機能やUVC/UAC入力機能を使用してストリーミングまたはファイル記録をすることもできます。

M2 Liveに接続した場合は、別のカメラでストリーミングしている映像やプログラム出力映像をXDCAM pocketでモニターすることもできます。

XDCAM pocket

M2 Liveに接続する

本アプリを起動して、M2 Liveに接続する手順を説明します。

ご注意

- H.265/HEVCエンコーダーを搭載していないモバイル端末では、M2 Live を使用してストリーミングすることはできません。リターン画面のみ使用できます。
- M2 Liveのイベント入力のビデオフォーマットは、M2 Live の公開地域・国によって選択できるフォーマットが異なります。本アプリで設定するフレームレートがM2 Liveのビデオフォーマット一覧にない場合はストリーミングができません。

初回起動時の接続手順を説明します。

- 1 **本アプリを起動する。**
初回起動時は、国／地域を選択する画面が表示されます。
- 2 **本アプリを使用する国／地域を選択し、[次へ] をタップする。**
- 3 **ソフトウェア使用許諾の内容を確認し、[同意します] をタップする。**
- 4 **接続先として [M2 Live] を選択し、[次へ] をタップする。**
カメラ画面が表示されます。
- 5 **🏠 (ホーム) ボタンをタップする。**
設定画面が表示されます。
- 6 **設定画面で [接続] をタップする。**
接続画面が表示されます。
- 7 **[アカウント] で [Sony account] または [Professional ID] を選択する。**
- 8 **M2 Liveに表示する名前を入力して、[サインイン] ボタンをタップする。**
サインイン画面が表示されます。
- 9 **ユーザIDとパスワードを入力して、[サインイン] ボタンをタップする。**
- 10 **2段階認証が必要なユーザーアカウントの場合は、認証コードを入力して [認証] ボタンをタップする。**
イベント画面が表示されます。
- 11 **ステータスがRunningのイベントをタップする。**

- 12 XDCAM pocketでストリーミングを行う場合は、[本アプリでストリーミングする場合]をタップして、[イベント入力に接続] ボタンをタップする。

M2 Liveのイベントに接続し、XDCAM pocketがM2 Liveの入力映像の一つに割り当てられます。
リターン画面だけを使用する場合は、この手順は不要です。

自動接続を有効にする

ネットワークの接続が切断されたとき、および次回以降の本アプリ起動時に自動的に再接続をしたい場合は、[ネットワーク切断時・アプリ起動時に自動で接続する]をオンにします。オフにした場合、アプリの起動後は[イベント入力に接続] ボタンをタップして接続してください。

接続先を変更する場合

接続先を変更したい場合は、設定画面> [接続] で切断した後、接続先を選択しなおしてください。

C-492-200-07(1) Copyright 2022 Sony Corporation

XDCAM pocket

C3 PortalまたはNetwork RX Stationに接続する

本アプリを起動して、C3 PortalまたはNetwork RX Stationに接続する手順を説明します。

初回起動時の接続手順を説明します。

- ① **本アプリを起動する。**
初回起動時は、国／地域を選択する画面が表示されます。
- ② **本アプリを使用する国／地域を選択し、[次へ] をタップする。**
- ③ **ソフトウェア使用許諾の内容を確認し、[同意します] をタップする。**
- ④ **接続先として [C3 Portal] または [Network RX Station] を選択し、[次へ] をタップする。**
カメラ画面が表示されます。
- ⑤ **↑ (ホーム) ボタンをタップする。**
- ⑥ **設定画面で [接続] をタップする。**
- ⑦ **接続先の情報など接続に必要な情報を入力する。**
- ⑧ **[接続] ボタンをタップする。**
C3 Portalに初めて接続した場合は、C3 Portalでモバイル端末の登録が必要です。

自動接続を有効にする

ネットワークの接続が切断されたとき、および次回以降の本アプリ起動時に自動的に再接続をしたい場合は、[ネットワーク切断時・アプリ起動時に自動で接続する] をオンにします。オフにした場合、アプリの起動後は [接続] ボタンをタップして接続してください。

接続先を変更する場合

接続先を変更したい場合は、設定画面 > [接続] で切断した後、接続先を選択しなおしてください。

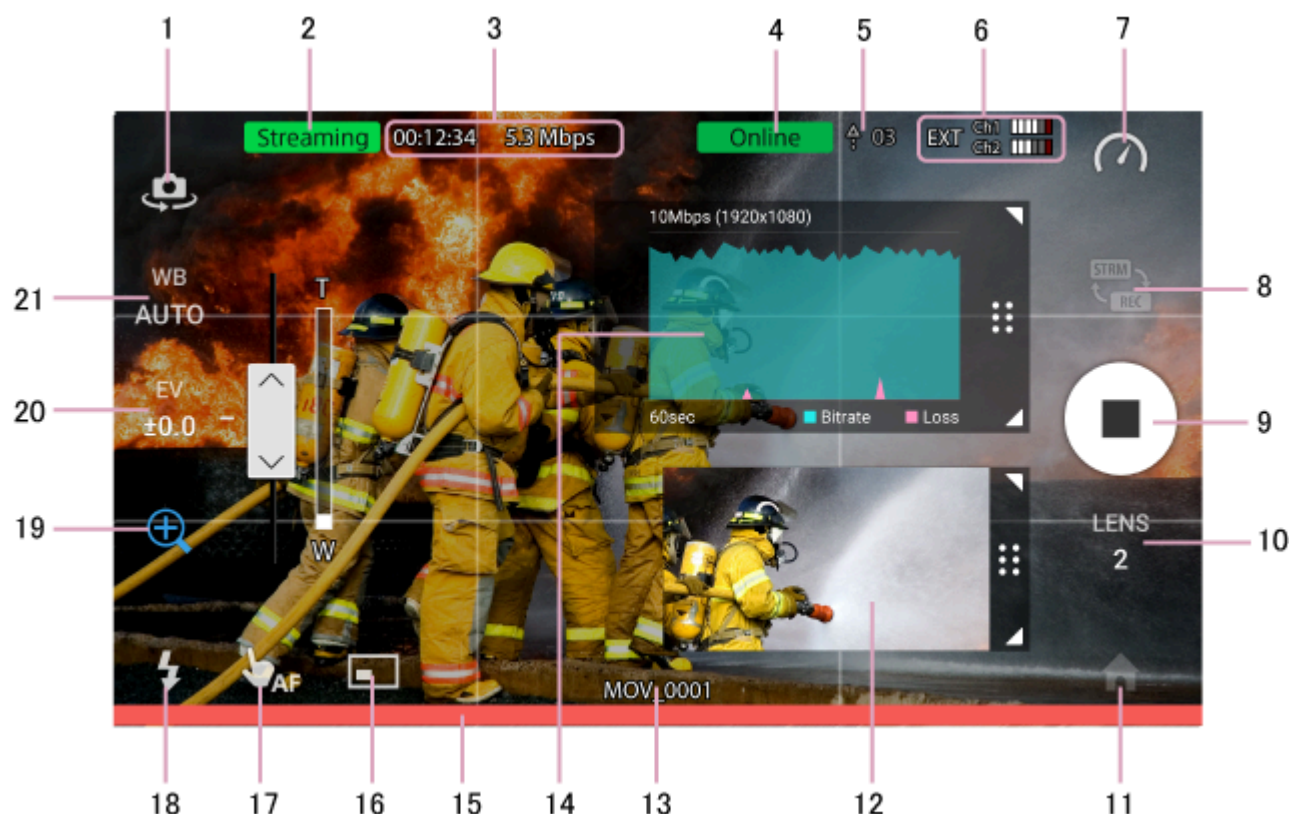
XDCAM pocket

カメラ画面

カメラ画面では、ストリーミングや記録の開始/停止の操作を行います。
接続先にM2 Liveを選択している場合は、記録は行えません。

ご注意

- Android 11以上の場合、カメラ画面表示中は着信音やバイブレーションがOFFになります。
- XperiaでHDMI入力またはUVC/UAC入力を使用する場合は、表示が異なります。(→外部入力カメラ画面)



1 リア・フロントカメラ切り替えボタン

リアカメラとフロントカメラを切り替えます。

ご注意

- 使用しているモバイル端末のフロントカメラが、本アプリケーションで設定可能なフレームレートに対応していない場合（60fpsなど）、フロントカメラへの切り替えはできません。

2 ストリーミング/記録アイコン

Streaming (ストリーミング) : ストリーミング中です。

Recording (レコーディング) : 記録中です。(接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合のみ)

3 ストリーミング/記録状態表示

ストリーミング中の場合、経過時間とビットレートを表示します。

記録中の場合、経過時間を表示します。(接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合のみ)

4 接続状況表示


接続先との接続状況を示します。

Offline：接続していません。

Connecting：自動接続を試みています（自動接続が有効な場合）。



Online：接続しています。

5 アップロード表示


ファイル転送のジョブがジョブリストに登録されているときに、（アップロード）アイコンと、アップロードが完了していないジョブの数を表示します。

M2 Liveと接続している場合は表示されません。

アップロードアイコンは次のどちらかが表示されます。

 （転送中）	ファイルを転送中です。
 （転送していない）	オフラインまたはストリーミング中のため、転送を待機中です。

6 オーディオレベル

CH1、CH2のオーディオレベルを表示します。外部マイクを接続している場合は、（外部入力）アイコンが表示されます。

内蔵マイクを使用する場合、モノラル/ステレオの選択およびステレオ時のCH1/CH2の割り当ては機種ごとに固定です。

また、モバイル端末の向きに関わらず、ステレオ時のCH1/CH2の割り当ては固定です。

7 ビットレートグラフ表示切り替えボタン（ストリーミングモードの場合）またはクリップレビュー（記録モードの場合）

ストリーミングモードの場合は、ビットレートグラフ表示のOn/Offを切り替えるボタンを表示します。

記録モードの場合は、直近に記録したクリップを表示します。タップすると[レビュー画面](#)が表示され、クリップを再生できます。

接続先にM2 Liveを選択している場合、クリップレビューは表示されません。




8 ストリーミング/記録切り替えボタン

タップして、ストリーミングモードと記録モードを切り替えます。

接続先にM2 Liveを選択している場合は表示されません。

9 開始/停止ボタン

接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合

ストリーミングモードの場合は （ストリーミング）ボタン、記録モードの場合は （記録）ボタンが表示されます。ストリーミング中および記録中は、ボタンが （停止）ボタンに変わります。




ストリーミングモードの場合は、接続先にストリーミングの開始/停止を要求します。開始可能な場合は、帯域推定を行い、ストリーミングを開始します。ストリーミングの開始/停止は、接続先のUIで行うこともできます。

記録モードの場合は、記録を開始/停止します。

ご注意

- 設定画面で「ストリーミング開始/停止ボタンを有効にする」をオフにした場合は、このボタンはグレーになり、ストリーミングの開始/停止ができません。その場合は、接続先のUIからストリーミングの開始/停止を行ってください。
- 記録モードの場合、記録停止後すぐ記録を開始しようとすると、まれにエンコーダーエラーが発生して記録を開始できないことがあります。このときは、記録停止後数秒程度たってから記録を開始することをお勧めします。

接続先にM2 Liveを選択している場合

（ストリーミング）ボタンをタップすると、接続先にストリーミングの開始を要求します。ストリーミング中は、ボタンが （停止）ボタンに変わります。 （停止）ボタンをタップすると、ストリーミングの停止を要求します。

M2 Liveからのストリーミング開始/停止はできません。

10 レンズ切り替えボタン

マルチレンズのモバイル端末で、使用するレンズを切り替えます。
レンズ番号は、焦点距離が小さい順に1から割り当てられます。

ご注意

- 動作確認済みモバイル端末以外でのレンズ切り替え動作は保証されません。

11 ホームボタン

接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合

ブラウザ画面、ジョブリスト画面、または設定画面を表示します。画面下のアイコンで画面を切り替えることができます。

接続先にM2 Liveを選択している場合

リターン画面または設定画面を表示します。画面下のアイコンで画面を切り替えることができます。

12 プログラム出力映像

M2 Liveとの接続中でプログラム出力映像表示切り替えボタンをOnにしたときにプログラム出力（PGM OUT）映像を表示します。

映像のみ表示され、音声の出力、オーディオレベルメーターの表示はできません。

Android端末の場合、カメラ画面ではプログラム出力映像を表示できません。



A：ドラッグして、映像の大きさを変更します。

B：ドラッグして、映像を移動します。

13 記録ファイル名

記録モードの場合に、記録中または次に記録するファイル名を表示します。

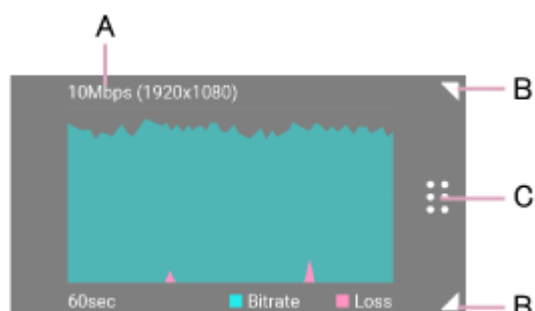
接続先にM2 Liveを選択している場合は表示されません。

状況に応じて、次のメッセージが表示されます。

Clips full	クリップ数が、記録可能な上限（1000）に達しました。
Storage full	モバイル端末のストレージ残量が不足しています。
Storage near full	モバイル端末のストレージ残量が残り少なくなっています。

14 ビットレートグラフ

ストリーミングモードでビットレートグラフ表示切り替えボタンをOnにしたときに、直近60秒間のビットレートをグラフ表示します。



A：受信側で設定しているストリーミングビットレートと解像度を表示します。

B：ドラッグして、グラフの大きさを変更します。

C：ドラッグして、グラフを移動します。

15 タリー

接続先にM2 Liveを選択していて、接続状況が「Online」のときにタリーが点灯します。M2 Liveでプログラム出力またはプレビュー出力に設定されている映像の下にタリーが点灯します。

赤色：プログラム出力中

緑色：プレビュー出力中

タリーの詳細については、「[タリーについて](#)」をご覧ください。

16 プログラム出力映像表示切り替えボタン

M2 Liveとの接続時に、プログラム出力映像の表示On/Offを切り替えます。

Android端末の場合は表示されません。

17 AF切り替え

AF（オートフォーカス）とタッチAFを切り替えます。タッチAFの場合は、画面をタッチした個所にフォーカスを合わせます。

18 フラッシュボタン

フラッシュのON/OFFを切り替えます。

19 ズームボタン

タップすると、スライダーが表示されます。スライダーを使って、画面をズームします。

20 露出補正

タップすると、スライダーが表示されます。スライダーを使って、露出を補正します。

21 ホワイトバランス

ホワイトバランスを調整します。

iOS端末ではスライダーを使ってホワイトバランスを調整します。

Android端末ではプリセットとして用意されたホワイトバランスを選択します。

XDCAM pocket

外部入力カメラ画面

Xperia PROのHDMI入力やXperia PRO/Xperia 1 IIIなどのUVC/UAC入力機能を使用すると、HDMIまたはUSBで接続したカメラからXperiaに入力されたビデオ/オーディオデータのストリーミングや記録が可能です。

外部入力を検出するとカメラ画面が外部入力カメラ画面に切り替わります。外部入力のケーブルを抜くとカメラ画面に戻ります。

ご注意

- UVC/UAC入力の場合、USBで接続したカメラの機種およびビデオフォーマットによっては接続したカメラの音声が入力されません。その場合は、モバイル端末の内蔵マイクを音声入力として使用します。
- UVC/UAC入力を使用する場合は、USB 3.2以上対応のケーブルを使用してください。
- Android 11以上の場合、外部入力カメラ画面の表示中は着信音やバイブレーションがOFFになります。



1 入力ビデオフォーマット

外部入力ビデオ信号の解像度とフレームレートを表示します。

「EXT(HDMI)」は入力ビデオ信号がHDMI入力であることを、「EXT(UVC)」はUVC入力であることを示します。

サポートしている解像度は、1920x1080および1280x720です。

サポートしているフレームレートは、以下のとおりです。インターレース入力には対応していません。

接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合

- HDMI入力の場合
 - 23.98p
 - 24p
 - 25p
 - 29.97p
 - 30p

- 50p
- 59.94p
- 60p
- UVC入力の場合
 - 25p
 - 30p
 - 50p
 - 60p

接続先にM2 Liveを選択している場合

- HDMI入力の場合
 - 25p
 - 29.97p
 - 30p
 - 50p
 - 59.94p
 - 60p
- UVC入力の場合
 - 25p
 - 30p
 - 50p
 - 60p

2 接続状況表示

接続先との接続状況を示します。

Offline：接続していません。

Connecting：自動接続を試みています（自動接続が有効な場合）。

Online：接続しています。

3 オーディオレベル

CH1、CH2のオーディオレベルを表示します。外部入力の場合は、**EXT**（外部入力）アイコンが表示されます。

4 ビットレートグラフ表示切り替えボタン（ストリーミングモードの場合）またはクリップレビュー（記録モードの場合）

ストリーミングモードの場合は、ビットレートグラフ表示のOn/Offを切り替えるボタンを表示します。

記録モードの場合は、直近に記録したクリップを表示します。タップすると**レビュー画面**が表示され、クリップを再生できます。

接続先にM2 Liveを選択している場合、クリップレビューは表示されません。




5 ストリーミング/記録切り替えボタン

タップして、ストリーミングモードと記録モードを切り替えます。

接続先にM2 Liveを選択している場合は表示されません。

6 開始/停止ボタン

接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合

ストリーミングモードの場合は （ストリーミング）ボタン、記録モードの場合は （記録）ボタンが表示されます。ストリーミング中および記録中は、ボタンが （停止）ボタンに変わります。




ストリーミングモードの場合は、接続先にストリーミングの開始/停止を要求します。開始可能な場合は、帯域推定を行い、ストリーミングを開始します。ストリーミングの開始/停止は、接続先のUIで行うこともできます。

記録モードの場合は、記録を開始/停止します。

ご注意

- 設定画面で「ストリーミング開始/停止ボタンを有効にする」をオフにした場合は、このボタンはグレーになり、ストリーミングの開始/停止ができません。その場合は、接続先のUIからストリーミングの開始/停止を行ってください。
- 記録モードの場合、記録停止後すぐ記録を開始しようとすると、まれにエンコーダーエラーが発生して記録を開始できないことがあります。このときは、記録停止後数秒程度たってから記録を開始することをお勧めします。

接続先にM2 Liveを選択している場合

 (ストリーミング) ボタンをタップすると、接続先にストリーミングの開始を要求します。ストリーミング中は、ボタンが  (停止) ボタンに変わります。  (停止) ボタンをタップすると、ストリーミングの停止を要求します。M2 Liveからのストリーミング開始/停止はできません。

7 ホームボタン

接続先にC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択している場合

ブラウザ画面、ジョブリスト画面、または設定画面を表示します。画面下のアイコンで画面を切り替えることができます。

接続先にM2 Liveを選択している場合

リターン画面または設定画面を表示します。画面下のアイコンで画面を切り替えることができます。

8 プログラム出力映像

M2 Liveとの接続中でプログラム出力映像表示切り替えボタンをOnにしたときにプログラム出力 (PGM OUT) 映像を表示します。

映像のみ表示され、音声の出力、オーディオレベルメーターの表示はできません。

Android端末の場合、外部入力カメラ画面でのみプログラム出力映像を表示できます。



A : ドラッグして、映像の大きさを変更します。

B : ドラッグして、映像を移動します。

9 記録ファイル名

記録モードの場合に、記録中または次に記録するファイル名を表示します。

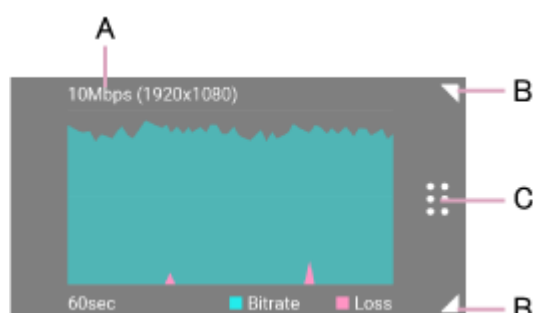
接続先にM2 Liveを選択している場合は表示されません。

状況に応じて、次のメッセージが表示されます。

Clips full	クリップ数が、記録可能な上限 (1000) に達しました。
Storage full	モバイル端末のストレージ残量が不足しています。
Storage near full	モバイル端末のストレージ残量が残り少なくなっています。

10 ビットレートグラフ

ストリーミングモードでビットレートグラフ表示切り替えボタンをOnにしたときに、直近60秒間のビットレートをグラフ表示します。



A：受信側で設定しているストリーミングビットレートと解像度を表示します。

B：ドラッグして、グラフの大きさを変更します。

C：ドラッグして、グラフを移動します。

11 タリー

接続先にM2 Liveを選択していて、接続状況が「Online」のときにタリーが点灯します。M2 Liveでプログラム出力またはプレビュー出力に設定されている映像の下にタリーが点灯します。

赤色：プログラム出力中

緑色：プレビュー出力中

タリーの詳細については、「[タリーについて](#)」をご覧ください。

12 プログラム出力映像表示切り替えボタン

M2 Liveとの接続時に、プログラム出力映像の表示On/Offを切り替えます。

C-492-200-07(1) Copyright 2022 Sony Corporation






XDCAM pocket

プレビュー画面

カメラ画面でクリッププレビューをタップしたとき、およびブラウザ画面でクリップをタップしたときにプレビュー画面を表示します。プレビュー画面では、選択したクリップのプレビューを表示します。



接続先にM2 Liveを選択している場合、プレビュー画面は表示されません。






- 1  (戻る) ボタン：前の画面に戻ります。
- 2  (情報) ボタン：メタデータ（クリップ名、作成日時、メモなど）を表示します。メモには、任意のテキストを入力できます。入力したメモは、C3 Portalで表示できます。
モバイル端末が縦画面の場合は、プレビューの下にメタデータが表示されるため、このボタンは表示されません。
- 3  (アップロード) ボタン：クリップをアップロードします。
- 4  (削除) ボタン：クリップを削除します。
- 5  (再生) ボタン：クリップの再生を開始します。再生中は一時停止ボタンになります。
- 6 シークバー：再生位置を示します。スクラブ再生が可能です。

XDCAM pocket

ブラウザ画面


 (ブラウザ) アイコンをタップすると、ブラウザ画面を表示します。
この画面では、記録したクリップを表示し、再生やアップロードを行います。
プレビュー画面でメモを入力したクリップは、サムネイルに  (メモ) アイコンが表示されます。
接続先にM2 Liveを選択している場合、ブラウザ画面は表示されません。

クリップをタップすると、[プレビュー画面](#)が表示され、クリップを再生できます。
クリップを選択して  (アップロード) ボタンをタップすると、クリップをジョブリストに登録し、接続先 (C3 PortalまたはNetwork RX Station) で設定された転送先にアップロードします。接続先に接続していない場合は、接続した後にアップロードを行います。
クリップを選択して、 (削除) ボタンをタップすると、クリップを削除します。

 (カメラ) ボタン : カメラ画面に戻ります。

 (グリッド) ボタン : クリップをグリッド表示します。


 (リスト) ボタン : クリップをリスト表示します。


 (メニュー) ボタン :


- 並べ替え : 項目を指定してクリップを並べ替えます。
- すべて選択 : クリップをすべて選択します。
- すべて解除 : 選択をすべて解除します。


XDCAM pocket

ジョブリスト画面

 (ジョブリスト) アイコンをタップすると、ジョブリスト画面を表示します。
この画面では、アップロード中またはアップロード待ちのクリップとアップロードの進行状況を表示します。
接続先にM2 Liveを選択している場合、ジョブリスト画面は表示されません。

 (カメラ) ボタン：カメラ画面に戻ります。

 (メニュー) ボタン：

- 中断：アップロードを中断します。中断したクリップを選択して  (アップロード) ボタンをタップすると、アップロードを再開できます。
- 完了したジョブを削除：アップロードが完了したジョブを削除します。
- すべて選択：クリップをすべて選択します。
- すべて解除：選択をすべて解除します。

ご注意

- C3 PortalやNetwork RX Stationと接続していないときにクリップをジョブリストに登録すると、転送先が「Unknown」と表示されます。接続して転送先が確定すると、表示がその転送先に変わり、転送を開始します。
- 転送先が確定した後に接続先で転送先の設定を変更した場合、確定済みの転送先は変更されません。

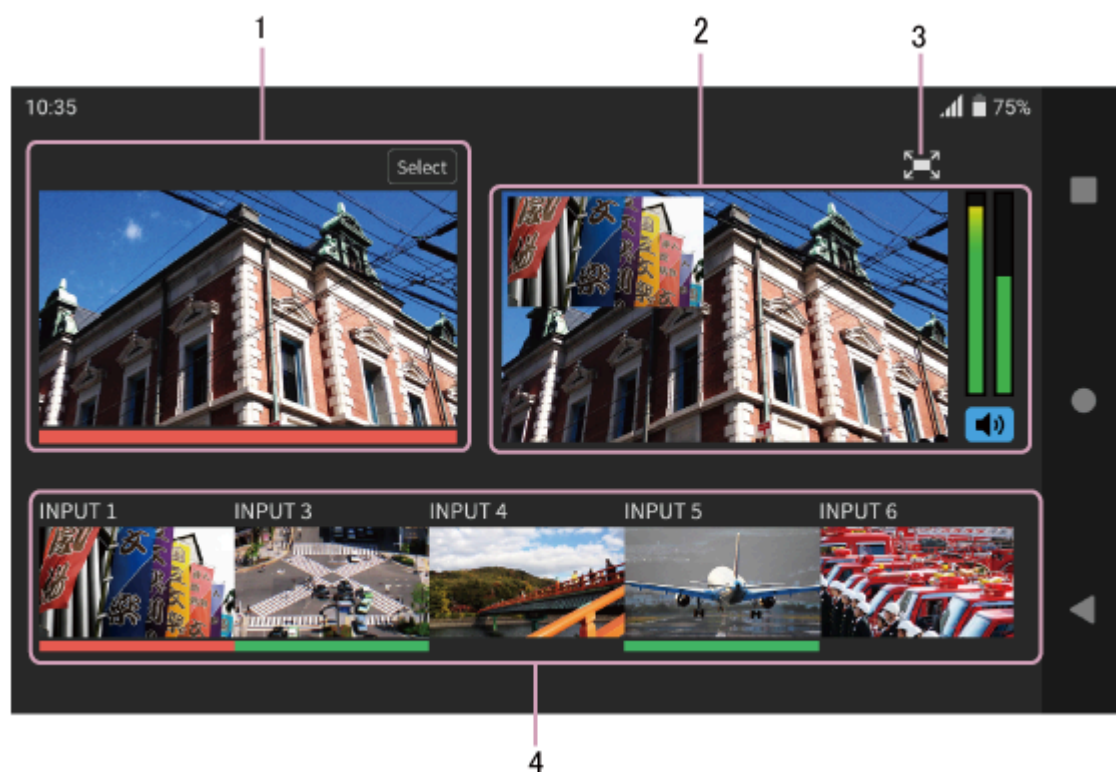
XDCAM pocket

リターン画面

リターン画面には、プログラム出力映像および各入力機器からの入力映像が表示されます。
リターン画面は、M2 Liveに接続している場合に表示できます。

ご注意

- M2 Liveの【Live Operation Proxy】の設定によってリターンに必要なビットレートが変わります。お使いのモバイル端末の回線状態とM2 Liveの設定によってはリターン再生が停止する場合がありますので、回線の状態に合わせてM2 Liveの【Live Operation Proxy】の設定を変更してください。



1 選択中のカメラ

選択したカメラからの入力映像を表示します。別の映像に切り替える場合は、【Select】ボタンをタップして、選択画面を表示します。

また、選択したカメラがプログラム出力中またはプレビュー出力中の場合は、映像の下にタリーが点灯します。

タリーはプログラム出力中は赤、プレビュー出力中は緑で点灯します。

プログラム出力、プレビュー出力の選択は、M2 Liveで行います。

タリーの詳細については、「[タリーについて](#)」をご覧ください。

2 プログラム出力映像

M2 Liveでプログラム出力中の映像を表示します。


画面右側にオーディオレベルメーターが表示されます。🔊 ボタンでオーディオのオン/オフを切り替えます。

3 全画面表示ボタン

プログラム出力中の映像を全画面表示します。

設定画面で【PGM全画面表示で選択したカメラのタリーを表示する】をONにすると、「1 選択中のカメラ」のタリーが全画面表示の下に点灯します。全画面表示されている映像はプログラム出力中の映像ですが、タリーは選択中のカメラのものになります。



 ボタンを押すと元の表示に戻ります。

4 選択していない入力映像

M2 Liveの入力映像のうち、[選択中のカメラ]に表示されている映像以外の入力映像を表示します。

プログラム出力中またはプレビュー出力中の映像の下にはタリールが点灯します。

タリールはプログラム出力中は赤、プレビュー出力中は緑で点灯します。

タリールの詳細については、「[タリールについて](#)」をご覧ください。

XDCAM pocket

設定画面（接続先としてM2 Liveを選択した場合）



（設定）アイコンをタップすると、設定画面を表示します。

この画面では、本アプリケーションの設定を行います。

接続

- アカウント：「Sony account」または「Professional ID」を選択します。
- 名前：M2 Liveに表示されるモバイル端末の名称を入力します。
- ID：M2 Liveの機器管理で使用するIDを表示します。入力できません。IDの値を長押しすると、IDが再生成されます。
- サインインボタン：M2 Liveにサインインします。タップするとユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。
- イベント：イベント画面を表示し、イベントを選択します。サインインしていない場合は選択できません。
- 本アプリでストリーミングする場合：XDCAM pocketでストリーミングを行う場合は、タップして下記の設定をしてください。リターン画面のみを使用する場合は、ここでの設定は不要です。
 - － イベント入力に接続ボタン：M2 Liveのイベントに接続し、ストリーミングができる状態にします。
 - － ネットワーク切断時・アプリ起動時に自動で接続する：オンにすると、ネットワークが切断されたときおよびアプリの起動時に自動的に再接続します。

ご注意

- パスワードは、セキュリティの観点から定期的に変更することを推奨します。

カメラ

- フレームレート：フレームレートを指定します。設定できるフレームレートは、各モバイル端末で異なります。
- 手ぶれ補正：手ぶれ補正のON/OFFを切り替えます。非サポートと表示されている場合は、設定できません。
- グリッド線：グリッド線の表示ON/OFFを切り替えます。

オーディオ

- ミューティング：ミューティングのON/OFFを切り替えます。

リターン

- PGM全画面表示で選択したカメラのタリーを表示する：リターン画面を全画面表示にしたときに選択中のカメラのタリーを画面下に表示するかどうかを切り替えます。

情報

- ソフトウェア使用許諾契約書：使用許諾契約書を表示します。
- プライバシーポリシー：プライバシーポリシーを表示します。
- ライセンス情報：本ソフトウェアのライセンス情報を表示します。

ヘルプ

ヘルプ（このドキュメント）を表示します。



（カメラ）ボタンをタップすると、カメラ画面に戻ります。

XDCAM pocket

設定画面（接続先としてC3 PortalまたはNetwork RX Stationを選択した場合）



（設定）アイコンをタップすると、設定画面を表示します。

この画面では、本アプリケーションの設定を行います。

接続

C3 PortalまたはNetwork RX Stationに接続します。それぞれ、次の項目を入力します。

ご注意

- パスワードは、セキュリティの観点から定期的に変更することを推奨します。

C3 Portalの場合

- ホスト名：C3 Portalのホスト名またはIPアドレスを入力します。
- ユーザー名：C3 Portalで本アプリケーション用に登録したユーザー名を入力します。
- パスワード：C3 Portalで本アプリケーション用に登録したパスワードを入力します。
- 名前：C3 PortalのUIに表示されるモバイル端末の名称を入力します。
- ID：C3 Portalの機器管理で使用するIDを表示します。入力はできません。IDの値を長押しすると、IDが再生成されます。再生成した場合は、C3 Portalでモバイル端末の登録をやり直してください。
- 接続ボタン：C3 Portalに接続します。初めて接続した場合は、C3 Portalでモバイル端末の登録が必要です。
- ネットワーク切断時・アプリ起動時に自動で接続する：オンにすると、ネットワークが切断されたときおよびアプリの起動時に自動的に再接続します。

Network RX Stationの場合

- CCMアドレス：Connection Control Manager（以降「CCM」）のホスト名またはIPアドレスを入力します。
- CCMポート：CCMで本アプリケーション用に設定したポートを入力します。
- ユーザー名：CCMで本アプリケーション用に登録したユーザー名を入力します。
- パスワード：CCMで本アプリケーション用に登録したパスワードを入力します。
- 名前：CCMに表示されるモバイル端末の名称を入力します。
- ID：CCMの機器管理で使用するIDを表示します。入力はできません。IDの値を長押しすると、IDが再生成されます。
- 接続ボタン：CCMに接続します。
- ネットワーク切断時・アプリ起動時に自動で接続する：オンにすると、ネットワークが切断されたときおよびアプリの起動時に自動的に再接続します。

カメラ

- フレームレート：フレームレートを指定します。設定できるフレームレートは、各モバイル端末で異なります。
- 手ぶれ補正：手ぶれ補正のON/OFFを切り替えます。非サポートと表示されている場合は、設定できません。
- グリッド線：グリッド線の表示ON/OFFを切り替えます。

オーディオ

- ミューティング：ミューティングのON/OFFを切り替えます。

ストリーミング

- サポートビデオコーデック：使用しているモバイル端末がサポートしているビデオコーデックを表示します。
- H.265/HEVCを有効にする：ストリーミングにH.265/HEVCを使用する場合に選択します。使用しているモバイル端末がH.265/HEVCをサポートしていない場合は、非サポートと表示されます。
- ストリーミング開始/停止ボタンを有効にする：カメラ画面のストリーミング開始/停止ボタンを有効にします。無効にすると、XDCAM pocketからストリーミングを開始/停止することができなくなり、誤操作によるストリーミング

の開始/停止を防ぐことができます。無効にした場合は、接続先のUIからストリーミングを開始/停止してください。

ご注意

- [H.265/HEVCを有効にする] をONにした場合でも、接続先のC3 PortalまたはNetwork RX StationでH.265/HEVCが無効になっている場合、および使用しているNetwork RX StationがH.265/HEVCに未対応の場合は、H.265/HEVCでのストリーミングは行われません。

記録

- サイズ：記録時の解像度を選択します。
- クリップ名：クリップに付ける名称（タイトル、通し番号）を設定します。記録したクリップの名称は「<タイトル>_<通し番号>」となり、記録するごとに通し番号がカウントアップされます。

ヒント

- クリップの記録フォーマットは次のとおりです。
 - 拡張子：MP4
 - 映像：H.264/AVC
 - 音声：AAC
- 記録されたクリップは、可変フレームレートになります。

ファイル転送

- 自動転送：チェックすると、記録したクリップが自動的にジョブリストに登録され、転送されます。

情報

- ソフトウェア使用許諾契約書：使用許諾契約書を表示します。
- プライバシーポリシー：プライバシーポリシーを表示します。
- ライセンス情報：本ソフトウェアのライセンス情報を表示します。

ヘルプ

ヘルプ（このドキュメント）を表示します。

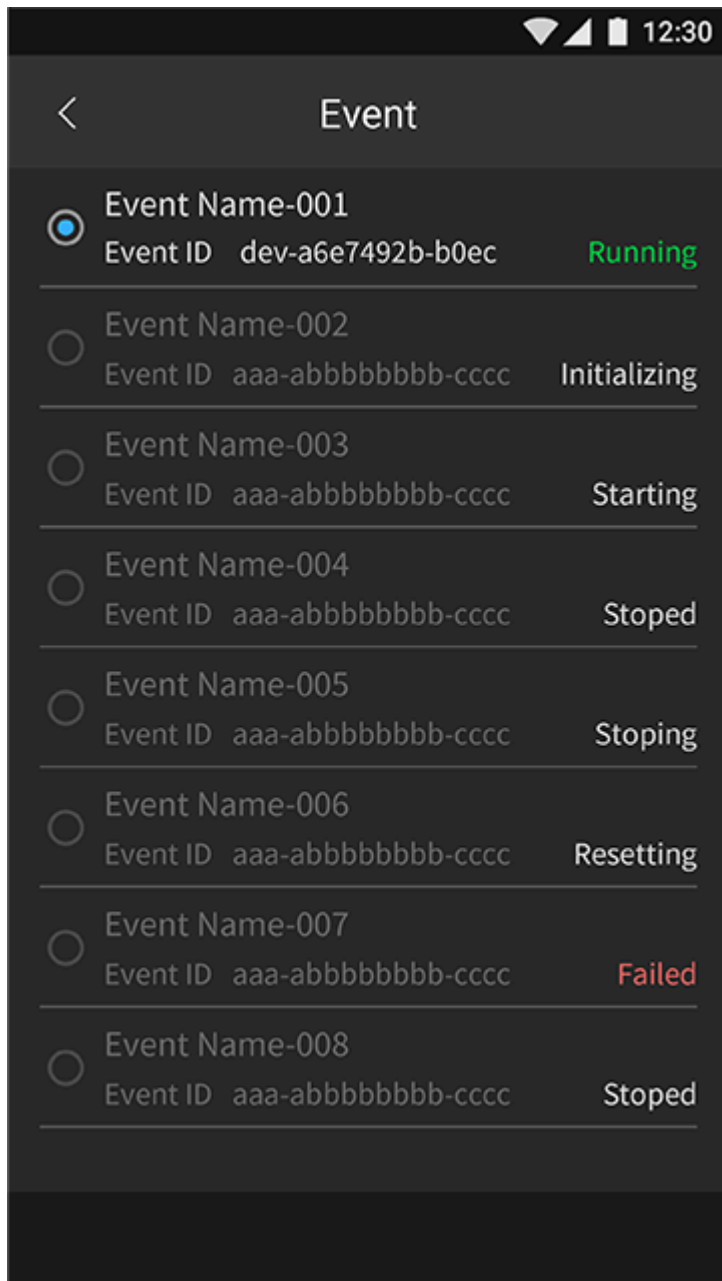
（カメラ） ボタンをタップすると、カメラ画面に戻ります。

XDCAM pocket

イベント画面

接続先にM2 Liveを選択している場合に、M2 Liveに登録されているイベントを表示し、ストリーミングまたはリターン表示を行うイベントを選択します。

イベント画面は、[接続] > [イベント] をタップすると表示されます。



M2 Liveに登録されているイベントが表示されます。

ステータスがRunningのイベントを選択します。Running以外のイベントは選択できません。

表示内容

- イベント名
- イベントID
- ステータス

XDCAM pocket

タリーについて

M2 Liveでプログラム出力/プレビュー出力に設定されている画像にタリーが表示されます。

M2 Liveでプログラム出力に設定されている映像の場合、タリーは赤色で表示されます。



M2 Liveで映像がプレビュー出力に設定されている映像の場合、タリーは緑色で表示されます。



M2 Liveでプログラム出力かつPinPのバックグラウンド映像に設定されている映像の場合、タリーは赤色で表示されます。



M2 Liveでプログラム出力かつPinPの子画面映像に設定されている映像の場合も、タリーは赤色で表示されます。



M2 Liveでプレビュー出力かつPinPのバックグラウンド映像に設定されている映像の場合、タリーは緑色で表示されます。

M2 Live

XDCAM pocket

プレビュー出力

プログラム出力



M2 Liveでプレビュー出力かつPinPの子画面映像に設定されている映像の場合も、タリーは緑色で表示されます。

M2 Live

XDCAM pocket

プレビュー出力

プログラム出力



M2 Liveでプログラム出力とプレビュー出力に同じ映像が設定されている場合、プログラム出力を優先してタリーは赤色で表示されます。

M2 Live

XDCAM pocket

プレビュー出力

プログラム出力



M2 Liveでプログラム出力の子画面映像とプレビュー出力のバックグラウンド映像に同じ映像が設定されている場合、プログラム出力を優先してタリーは赤色で表示されます。

M2 Live

XDCAM pocket

プレビュー出力

プログラム出力



XDCAM pocket

動作確認機器

このアプリケーションでは、下記の機器での動作を確認しています。

モバイル端末

- Xperia PRO
- Xperia 1 III
- Xperia 1 VI
- PDT-FP1
- Galaxy S10
- Google Pixel 9
- iPhone Xs Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 15 Pro

Network RX Station

- PWS-110RX1A v1.21.0 以上
- PWA-RX1 v1.0.1 以上

外部オーディオ機器

- iRig Mic Studio
- iQ7 (iOS端末のみ)

カメラ

- HDMI入力 : ILME-FX6
- UVC/UAC入力 : ILCE-7M4

XDCAM pocket

使用上のご注意

- C3 Portalと接続する場合、C3 Portalでモバイル端末の登録が必要です。Android端末で本アプリケーションをいったんアンインストールして再インストールした場合、およびiOS端末で端末をリセットした場合は、C3 Portalでモバイル端末の登録を再度行ってください。
- 本アプリケーションの起動中に外部オーディオ機器を接続したり外したりした場合の動作は保証されません。
- モバイル端末に搭載されているチップセットによってストリーミング画質は異なり、チップセットによっては動作確認済みのモバイル端末と比較してストリーミング画質が劣化することが確認されています。
- 本アプリケーションの起動中に電話着信があると、3Gに切り替わることがあります。ストリーミング中に3Gに切り替わるとストリーミング画質が劣化します。
- ストリーミングまたは記録中に、電話着信・通話などにより本アプリケーションがバックグラウンドに遷移した場合、ストリーミング/記録が停止します。
- iOSで使用する場合、モバイル端末の「設定」－「おやすみモード」を設定すると電話着信をブロックできます。これにより、電話着信によるストリーミングや記録の停止を防ぐことができます。
- C3 PortalまたはNetwork RX Stationの設定で、FTPSを使用してFTPサーバーにクリップを転送するよう設定した場合は、サーバー証明書がプライベート認証局から発行された証明書のときはFTPS転送に失敗します。
- モバイル端末や使用環境によっては発熱により本アプリケーションが正常に動作しないことがあります。その場合は、モバイル端末の温度が下がってからお使いください。
- iOSで使用する場合、本アプリケーションをアンインストールすると、記録したクリップは削除されます。記録したクリップを取り出す場合は、以下の手順を行ってください。
 1. コンピューターにiOS端末を接続する。
 2. Apple Configurator 2のエクスポート機能またはWindows版iTunesのファイル共有機能を使用し、本アプリケーションのClipフォルダーをコンピューターに保存する。

XDCAM pocket

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- iPhone、Lightning、iTunes、Apple Configurator 2は、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Pixelは、Google LLCの登録商標または商標です。
- Galaxyは、Samsung Electronics Co.,Ltd.の商標または登録商標です。
- iRigは、IK Multimedia Productionの商標です。
- その他の社名および商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。